



最前線レポート

発行所
大洋基礎工業(株)
たいよう新聞委員会

声援

今年の夏は全国的に平年より厳しい暑さの夏【ダブル高気圧】と言われています。【ダブル高気圧】とは、太平洋高気圧とチベット高気圧が日本付近まで張り出し、上空で重なり合つて【ダブル高気圧】となり二つの高気圧が非常に背の高い一つの高気圧のように働き、厳しい暑さをもたらします。このため、最高気温が三五度以上の猛暑日が続いたり、フェーン現象が起ころやすい場所では四〇度前後の酷暑になる日もでてきますので皆さまにおかれましては日々の水分補給・日陰での休憩等を今まで以上取り熱中症対策をおこなつて下さい。

また新型コロナウイルス感染についても様々な変異株が出て水調査機（二重管方式）による施工方式に変更し、排水を出さない施工を行いました。薬液注入においては、本来施工完了後に設置する覆工板およびライナープレートを先行して三段階造立て頂き、排水を坑内に溜めて施工を行いました。施工中においても、残水ポンプや排水用掃除機等を常時使用し、泥水の流出行う必要がありました。薬材に盤において、予想していたよりも透水性が良い砂礫地盤と結果が得られました。そこで、使用する薬材および注入率の検討をする

きて世界中の人々を困らせていいます。いつまで続くかわかりませんが、今までのよう緊急事態宣言、まん延防止等重点措置を取っていると社会全体が回らない、生活が成り立たないと思いません。コロナと上手に付き合えるのも大変ですが、その場に合わせて臨機応変に対策しながるコロナ禍に負けずマスク無しの生活に戻れる日を楽しみにして頑張っていきましょう。

区・東灘・姫路市内に住んでいます。また私が大好きなプロ野球チーム阪神タイガースも皆さんは大阪の球団と思っている方も多いかも知れませんが、甲子園球場は兵庫県西宮市になりますので兵庫県は私自身色々と縁があります。

兵庫連絡所で勤務していた一年間は毎日、夜遅くまで仕事をしてなかなか家に帰れなかつたことを想い出します。その当時にお世話になつた元請様方からは、色々ご指導頂きました。その後、兵庫連絡所から大阪支店に戻りましたが、その時にご指導頂いた経験が現在の私の日々の仕事に關しての考え方、仕事に対する向き合い方に繋がっています。大阪支店他の事業所で勤務している若い職員達にご指導頂いたことを少しずつ伝えていき、若い職員の成長に少しでも協力出来たらと思います。

山陽営業所は、現在私、現場管理職員三名、事務員一名の合計五名で日々の作業をおこなっています。山陽営業所での積水ハウス(株)様での担当エリアは兵庫県全域、岡山県、京都府福知

両(四tトラック三台)の運搬に必要なヤードが付近に確保できなかつたことから、元請様のヤードから工事車両の運搬をすることになりました。夜間道路上での施工については、工種に問わざ多くの車両を運搬する必要があり、運転手が必要となります。現在の人手不足や人員の高齢化および中型車両の運転については施工業者単独では全てを賄うことが非常に困難となつており、難しい問題でしたが、元請様および協力業者様にも協力を頂き、施工を行うことができました。

日々朝早くから夕方まで車移動山等京都府北部になり各職員は絡所から始まり山陽営業所開設を含めて今年で約一五年が経ちます。今までの各所長が約一五年に渡り培つてきた山陽営業所の信用と信頼を大切に今まで以上にお客様に満足して頂けるよう『何事にもすぐ行動・対応』して心の底から本当に太洋基礎工業に依頼、相談して良かったと言つて頂けるように山陽営業所職員全員で対応させて頂きますので宜しくお願ひ致します。

先程の甲子園で言えば夏の甲子園が三年ぶりに一般客が観戦できることになり毎日、熱戦が繰り広げられています。私も、高校野球が大好きで毎年楽しみみに観戦しております。高校野球に限らずスポーツに関わっています。高校野球が大好きで毎年楽しみ見る学生たちの態度や目の輝きを見ていると、真正面から正直に物事に取り組んでいる姿勢、熱い気持ちを感じます。大人になるとどうしても色々な部分がくすんでくるような気がしますのでもぐるような気がしますので毎年、良い刺激を貢っています。

量の地盤変状や隆起はあつたものの大きなトラブルも無く、立坑掘削時や推進に伴う鏡切断時においても湧水もほばなく無事に施工を完了することが出来ました。また、施工中に元請様の渡辺社長様より安全講和をして頂き、その中で「自分および共に働く仲間の安全を第一に考えた協力業者様に対して先の言葉を忘れずに安全作業を心掛けて施工を行うこと」というメッセージを頂きました。当たり前のことではありますが、施工中は熱意を持って施工して頂き、細なことも進んで協力して頂いた協力業者様に対して先の言葉を忘れずに安全作業を心掛け、無事故で当初の施工や追加

工事部 小田嶋 雄輔

